



今月の題字
上野 歩君
(山田北小2年)

町のゆたかい

ガールスカウト アフガニスタンへ支援物資 世界の子供たち助けたい

1月5日、本町のガールスカウト第28団では、町中央コミュニティセンターでアフガニスタン難民の子供たちに送るピースバックの袋詰めを行いました。世界平和に貢献しようとガールスカウト日本連盟が実施しているもので、今年で10回目。参加した団員11人は、チャリティーバザーの益金で購入した文房具や歯ブラシ、縄跳びなどを丁寧に布製の袋に詰め、最後にメッセージを添えました。完成した10袋のピースバックは、国連難民高等弁務官事務所を通じて5月初旬にアフガニスタンの子供たちに届けられます。



町民歌を斉唱する成人者の皆さん

174人が飛躍を胸に成人式 晴れて大人の仲間入り

平成16年の町成人式が1月11日、町中央公民館大ホールで開かれました。式典には新成人246人のうち帰省者を含む174人(男80人、女94人)が参加し、晴れて大人の仲間入りを祝い合いました。主催者を代表し沼崎喜一町長が「自らの成長とともに地域の発展のため、皆さんの若さと情熱が新しい町づくりのエネルギーとなることを期待します」とあいさつ。その後、田森教郎さん(大沢)が町民憲章を読み上げました。佐々木良一議長、佐々木俊夫県議会議員の祝辞に続き、新成人を代表して尾形美香さん(豊間根)が「この日を契機に大人の仲間入りをした自覚と責任を持ち、厳しい時代ですが常に自分を見詰め若さと行動力で頑張りたい」と『はたちの決意』を述べました。記念講

新成人を代表して「はたちの決意」を述べる尾形美香さん(写真上)／会場前は、級友らと記念撮影をする若者の姿で華やいだ雰囲気になっていました(丸写真)



演では、船越の佐々木瑞英さん(瑞然寺住職)が「決意」をテーマに講演。「将来に夢を持って大きな決断をすれば何でもできる。それが若さである」と熱く語りました。その後、壇上で将来の夢などを述べる「はたちの決意」発表会や、東京都在住の水村咲子さん(境町出身)から寄贈された真珠のネックレスが当たるプレゼント抽選会が行われ、場内は和気あいあいとした雰囲気になっていました。

田の浜自治会で世代間交流 親ぼくで咲いたミズキの花

田の浜自治会主催の世代間交流会が1月11日、船越漁村センターで開かれました。郷土の風習や昔遊びを伝えながら、世代を超えた地域のきずなを深めようといわれたもので、地区内の小学生親子やお年寄りなど180人が参加。ミズキ団子作りやお手玉遊びなどを通じ親ぼくを深めました。ミズキ団子の飾り付けでは、お年寄りが優しく手ほどき。子供たちは、笑みを浮かべながらミズキの枝の一つ一つ飾り付け、会場に色とりどりの花を咲かせていました。



花と緑の地域づくり協議会を設立 来訪者の心安らげる拠点に

「花と緑の地域づくり協議会」の設立総会が1月13日、町中央コミュニティセンターで開かれました。マリパーク跡地の施設を活用した花と緑の地域づくりを目的に結成したもので、設立総会には、花き栽培や造園業を営む方など12人が出席。会則や事業計画、予算などを決定し、会長に松崎孝男さん(53歳)＝船越＝を選出しました。会員の皆さんは4月の開園に向け、訪れた方々が花と緑で心安らげる活動拠点の整備に意欲を見せていました。

2団体から町に温かい善意 寄付金と車いすが贈られる

町の福祉に役立てて——。1月21日、アニメ「もも子」上映実行委員会が町に102,965円を寄付しました。昨年12月に町中央公民館で開催した映画「もも子」上映会の売上金の一部を贈ったもので、贈呈式には、同委員会を代表して町商工会の阿部幸栄会長と、町婦人団体協議会の昆野昭子会長が役場を訪問。沼崎喜一町長に寄付金を手渡しました。また、27日には昭和3年生まれ旧山田小学校同級生でつくる昭三会が車いす2台を寄贈。同会の解散に伴い、積み立ててきた会費の清算にあたり車いすを購入し贈ったものです。贈呈式には、幹事の本下善三郎さんと佐藤昭三さんが訪れ、町長に目録を手渡しました。寄付金と車いすは町社会福祉協議会に贈られ、障害者や高齢者福祉に役立てられます。



車いすの目録を手渡す幹事の本下さんと佐藤さん(左)＝写真上＝／寄付金を贈る阿部会長(右)と昆野会長＝丸写真＝